



小瀬 博之 (KOSE Hiroyuki)

経歴 (2022.12 現在)

詳細、最新情報は Researchmap をご覧ください。

<https://researchmap.jp/hkosekawagoe>



- 1970 年 千葉県船橋市生まれ
(1971-1976 年 東京都北区、1976-1995 年 埼玉県鴻巣市)
- 1986-1989 年 埼玉県立浦和高等学校 (ボート部)
- 1989-1993 年 東京工業大学工学部建築学科 (弓道部、志水研究室)
(計画系研究室での卒業研究は「駅前商店街の物理的属性と評価に関する研究」)
- 1993-1995 年 東京工業大学大学院総合理工学研究科社会開発工学専攻 修士課程
- 1995-1998 年 東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻 博士後期課程
(大学院から助手まで給排水衛生設備の紀谷研究室に所属)
(1995 年に大岡山キャンパスから長津田キャンパスに拠点が移動)
(1995-1999 年 神奈川県大和市で独立)
(博士学位論文は「水景施設における人の行動と周辺環境の解析および設計手法の開発に関する研究」)
- 1998-1999 年 東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻 助手
- 1999-2009 年 東洋大学工学部環境建設学科 (1999- 講師、2005 年 - 助教授、2007 年 - 准教授)
(1999 年 - 現在 埼玉県川越市 在住)
(土木系の学科で「人間-都市環境研究室」を主宰)
(2004 年 - 現在 かわごえ環境ネット 理事長)
(2004-2009 年 東洋大学地域産業共生研究センター 研究幹事「」)
- 2009 年 - 現在 東洋大学総合情報学部 (2009- 准教授、2012- 教授)
(情報系の学科で「環境コミュニケーションゼミ」を主宰)
(2007-2012 年 東洋大学福祉社会開発研究センター プロジェクト 2 研究員)
(2014 年 - 現在 東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊 代表)
(2020 年 - 現在 東洋大学地域活性化研究所長)

専門分野

建築環境工学
(給排水衛生設備)
環境・景観保全
(水田・森林保全)
コミュニティデザイン
(環境まちづくり、
地域活性化)

趣味・特技

まちあるき
自然観察



東洋大学 総合情報学部 環境コミュニケーションゼミ

ミッション

社会・環境に関する持続可能な開発の課題を、ICTを活用して解決に導き、人と環境にやさしい、便利で、楽しい、活発な社会を創造すること

東洋大学

1887年創立
4キャンパス（白山、赤羽台、川越、板倉）
13学部 45学科
学生数 30,847人
教員数 766人

2022年5月現在

総合情報学部

2009年4月設置
川越キャンパス
文理融合
3コース制（システム情報コース、メディア文化コース、心理・スポーツ情報コース）

メンバー（2022年12月現在）

教員：小瀬博之

学生：大学院博士前期課程1年2名、4年生8名、3年生7名

主な研究テーマ（2022年12月現在、実施検討中の内容を含む）

田んぼIoT研究（生きもの育む田んぼプロジェクト）

稲作におけるIoTの活用（環境計測と稲作支援、害獣除け、抑草など）

里山林保全研究（こもれびの森・里山支援隊）

「東洋大学川越キャンパスこもれびの森」における生物多様性モニタリング
里山林保全への関心を高めるコンテンツの制作

地域活性化研究（川越市を中心とした環境まちづくり）

地域におけるSDGsの推進と啓発
脱炭素社会市民会議の検討

地域におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）

MaaS, 防災, シェアリングエコノミーなどシステムの地域社会への導入と普及の提案

水環境・給排水衛生設備に関する研究

ゼロウォータービルディング評価手法の検討
衛生器具のユニバーサルデザインの検討